

ハウスニラの増収技術 (B12)

(高知農技セ) 溝淵啓介、和田絵理子、山崎浩実

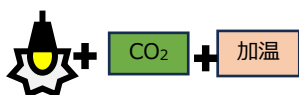
研究概要

ハウスニラにおいて電照と加温、炭酸ガス施用を組み合わせた増収技術を開発した。電照と炭酸ガス施用、10℃加温を組み合わせた場合、慣行の電照栽培と比較して、処理期間中の1莖葉数が多く、莖径が太く、収量が多く、品質面では葉幅が広くなることを認めた。電照処理後の収量についても、多いもしくは同等であった。また、抽だいは収穫4回目と5回目に発生したが、発生率はいずれの定植時期でも実証区で低かった。

品種：ミラクルグリーンベルト
定植日：6月23日定植、7月7日定植

実証区

電照 + 炭酸ガス + 加温



電照方法

- ・暗期中断3時間 (23~2時点灯)
- ・11月5日開始。以降の1莖当たり葉数が累計20枚展開した1月21日に停止
- ・白色LED、約48Lx、炭酸ガス施用：400ppm、加温温度：10℃

対照区

電照のみ



電照方法

- ・暗期中断3時間 (23~2時点灯)
- ・11月5日開始、2月14日停止
- ・白色LED、約39Lx
炭酸ガス施用、加温はなし

月	2月	3月	~	6月	7月	~	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月				
処理期間	電照 11/5 ~ 1/21 加温 12/1 ~ 3/1 炭酸ガス 12/6 ~ 2/26																	
定植	区	加温	CO ₂															
6月	実証	10℃	400-430	○ 121日 ~	▲ 112~113日	□ I 47日	□ II 43日	□ III 40日	□ IV 43日	□ V 35日	○ 2/22	○ 6/23	○ 10/13-14	○ 11/29-30	○ 1/11-12	○ 2/20-21	○ 4/4-5	○ 5/9-10
6月	対照	無	無															
7月	実証	10℃	400-430	○ 112日 ~	▲ 111~112日	□ I 36日	□ II 45日	□ III 43日	□ IV 38日	□ V 34日	○ 3/17	○ 7/7	○ 10/26-27	○ 12/1-2	○ 1/15-16	○ 2/27-28	○ 4/6-7	○ 5/10, 12
7月	対照	無	無															

図 収穫日および収穫所要日数

Z) ○：播種、▲：定植、□ I~VI：収穫順位、○○日：収穫所要日数

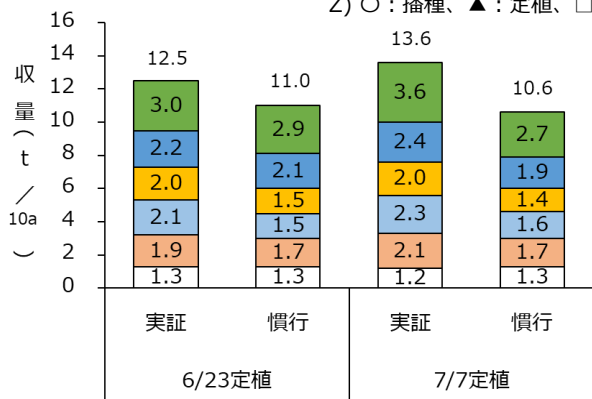


図 可販収量

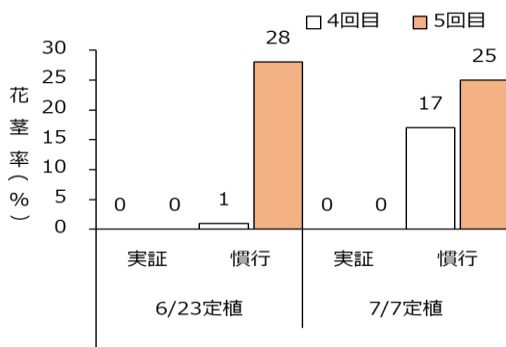


図 花莖率

注) 花莖が発生した莖 / 調整後の莖数 × 100で算出

応用範囲

県下のハウスニラ栽培農家

今後の展開

多収生産かつ省力化技術として、農業者への普及を図る。